

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年7月1日 (2010.7.1)

【公開番号】特開2008-293260(P2008-293260A)
 【公開日】平成20年12月4日 (2008.12.4)
 【年通号数】公開・登録公報2008-048
 【出願番号】特願2007-137877(P2007-137877)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 11/28 (2006.01)

G 0 6 F 11/22 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 11/28 3 1 0 B

G 0 6 F 11/22 3 6 0 E

【手続補正書】
 【提出日】平成22年5月17日 (2010.5.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

外部から情報が入力される信号伝達経路と、

前記信号伝達経路に現れた情報をトレースメモリに格納するトレース制御を行うトレース制御部とを有するトレース装置であって、

前記トレース制御部は、トレース制御中、前記信号伝達経路に現れた情報を逐次前記トレースメモリに格納する動作を行い、設定された複数のトレースポイントに対し、当該トレースポイントを含み前記トレースポイントの前後の所定の複数バスサイクルの前記信号伝達経路の情報を前記トレースメモリに格納し、他の前記信号伝達経路の情報による書き換えを抑制して前記トレースメモリに保持する動作モードを有するトレース装置。

【請求項 2】

前記信号伝達経路は、プログラムを実行するデータプロセッサが入出力する情報を受けるバスである請求項 1 記載のトレース装置。

【請求項 3】

前記トレース制御部は、前記信号伝達経路に現れた情報を逐次格納する動作が排他的に行われる複数のバッファメモリを有し、前記トレースポイントを含む所定の複数バスサイクルの前記信号伝達経路の情報を一のバッファメモリからトレースメモリの所定領域に転送開始するとき、前記信号伝達経路に現れた情報の格納先を前記一のバッファメモリから他のバッファメモリに切り換える制御を行う請求項 1 又は 2 記載のトレース装置。

【請求項 4】

前記トレース制御部は、複数の前記トレースポイントがプログラマブルに設定可能にされるトレース条件設定部を有する請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のトレース装置。

【請求項 5】

前記トレース制御部は、前記トレースポイントを含む所定の複数バスサイクルのサイクル数がプログラマブルに設定可能にされる第 1 レジスタを有する請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のトレース装置。

【請求項 6】

前記トレースポイントを含む所定の複数バスサイクルの前記信号伝達経路の情報は、前

記トレースポイントの前後の第 1 情報、前記トレースポイントの以前の第 2 情報又は前記トレースポイントの以降の第 3 情報である請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載のトレース装置。

【請求項 7】

前記トレースポイントを含む所定の複数バスサイクルの前記信号伝達経路の情報として、前記トレースポイントの前後の第 1 情報、前記トレースポイントの以前の第 2 情報又は前記トレースポイントの以降の第 3 情報を選択的に指定する第 2 レジスタを更に有する請求項 6 記載のトレース装置。